

教材活用シリーズ 第138回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などを紹介합니다。

新しい時代にマッチした

「しかけ」がいつぱいの『社会科資料集』
 —主体的・対話的で深い学び・令和の日本型学校教育・そしてGIGA対応社会科資料集—

(株)正進社
 『社会科資料集』



かわはら まさき
川原 雅樹
 (兵庫県丹波篠山市立
 味間小学校 教諭)

著書『新指導要領必須事項が身につく！社会科の授業設計：楽しい！面白い！調べ活動のヒント100』（学芸みらい社 2019年）、『「社会」授業の腕が上がる新法則』（編者・学芸みらい社 2020年） 他

2 新学習指導要領

これまで
 社会科で
 必ず暗記し
 なければな
 らない事項
 は「47都道
 府県の名
 と位置」で
 あった。今
 回の改訂で
 新たに「六
 大陸と三海
 洋の名称と位置」も必ず暗記する事項に加わった。本資料集は「シールを貼る」「大陸名・海洋名をなぞる」などの作業により自然に六大陸と三海洋の名称と位置を覚えられる仕組みになっている。47都道府県の名と位置を覚えるには巻末の白地図が便利である。よくあるテストに白地図に番号が付いていて、別にある解答欄に都道府県名を書くものがある。これだと例えば北から（1番から）覚えていき、一番ややこしい北関東や中部地方で力尽きて覚えるのが嫌になってしまふ。また覚えたとしても、1番から順番に名称だけ覚えて、場所はまったく覚えな
 いこともある。本資料集の白地図は書く場所に書き込めるようになってるので「名称と位置」両方を覚えることができる。



▲新学習指導要領で必ず覚えなければならない「47都道府県の名と位置」「六大陸と三海洋の名称と位置」対応のシールや巻末白地図

「作業するだけでいつの間にか楽しく学習内容を理解し覚えてしまふ」「使っているだけで自然に基礎技能が身についてしまふ」のが正進社の『社会科資料集』である。

1 GIGAスクール構想

基本的にひとつの学習内容が見開き2ページで構成されている。そのほとんどにQRコードがつき、例えば「NHK for school」の短い動画「Youtube for school」の学習内容に関する動画「公的機関（例：水産省など）のHP」などを視聴することができる。GI

GIGAスクール構想の文部科学省のパンフレットにはSTEP1として「検索サイトを活用した調べ学習」とある。各ページのQRコードを読み込み、調べ学習につながる可能性がある。



▲GIGAスクール構想対応QRコードで楽しく動画やウェブページを視聴できる

3 スケルトン仕様

例えば5年生米作りの「カントリーエレベーター

▼学習しているページのまま広げられ、学習内容の地域が一目でわかるスッキリ飛び出し日本地図



よくある資料集の日本地図は、最初のページ、または最後のページに掲載されている。これでは、学習しているページを指などで挟んで行き来しないと見ることができない。そのうち指も外れてしまう。本資料集は、今、学習しているページを開けたまま「がばっ」と日本地図を広げることができる。日本地図には各場所に資料集のページ数と市町名が書かれていて、今学習しているページを見ながら、その場所がどの地方なのかが一目でわかるようになっている。

4 スッキリ飛び出し日本地図

ター」の中や6年生の「たて穴住居」の中などは、そのページを開けることで同時に外側と内側を見ることがができる。子どもたちは各施設の仕組みをよりイメージできる作りになっている。



▲建物などの中が見えるスケルトン仕様ページ

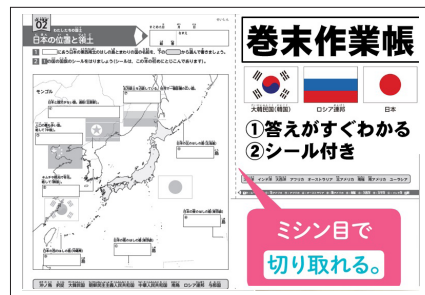
しおり自体、現在学習しているページにはさんで使えるので便利である。本資料集のしおりは、5年生なら「グラフの読み取り」、6年生なら「中学入試によく

6 学習技能が身につくしおり



▲学習技能が自然に身につくしおり

▼テスト前に復習でき、答えも簡単、発達障害の子どもたちにやさしい巻末作業帳



5 テスト前に復習できる巻末作業帳

巻末には単元毎に作業帳が付いている。テスト前の復習に使える。また、答え

悪いと「社会科嫌い」「社会科苦手」になってしまふ。作業帳をやることで、本番テストの点数もあがり、社会科嫌いを防ぐことも可能となる。

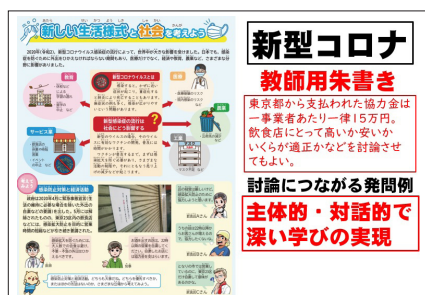
前の復習に使える。また、答えが下の欄に載っている。また、勉強が苦手な子どもたちも、答えを見て、写しながら学習事項を復習・覚えることができる。どんなに楽しい授業をやってもテストの点

7 主体的・対話的で深い学びにつながる発問

教師用朱書きには、各ページ発問例が載っている。例えば今年なら「新型コロナウイルス」に関するページがあり「東京都から支払われた協力金は一事業者あたり一律15万円。飲食店にとって高いか安いかわかるか」という問いが載っている。他のページにも討論につながる発問が数多く載っている。

出る歴史年号」が書かれている。しおりを使う度に社会科に必要な基礎技能を目にすることができ、実際にグラフを見るときのなどにも使える。しおりによって、自然に学習技能を身につけることもできる。

「資料集の時間」を確保し、「資料ウォッチ」と「まとめ」をさせることで、発達障害の子どもたちを含むすべての子どもたちに楽しく自然に学力を保证することもできる。



▲主体的・対話的で深い学びに対応した教師用朱書きの討論になる発問